

スキー0のギア

堀江守弘

雪上でのスピーディーなナビゲーションに必要な道具とは？

スキーオリエンテーリングでは、スキーをはじめとする様々な道具を利用します。その道具を上手く活用することによって、フット0では得られないスピーディーなナビゲーションが可能となるのです。今回はスキー0では欠かせないギアを紹介します。()内は今シーズン販売された新製品を補足したものです。

スキー板・ビンディング



価格：20,000～60,000円

スキー0で使う板はクロスカン트리ースキー用のものです。クロスカントリースキーにはクラシカルとスケータリングの二種類ありますが、より速くすべることのできるスケータリング用を使う選手がほとんどです。

アルペン用の板に比べて幅が狭く、軽量で金属のエッジがないのが特徴です。板の長さは一般的に身長+15cm前後です。

板の中心に付いているのがビンディングです。板と靴とを接続するためのものです。クロスカントリースキーはアルペンと違い、つま先だけが固定され、かかとが浮く仕組みになっています。



価格：6,000～8,000円
(マズシャスはレール方式のプレートを板と一体にしてテレインの状態に応じて前後に移動できるビンディングを発売した。価格：10,500円)

ブーツ



価格：20,000～45,000円

スケータリングでは足首まで固定されていた方が安定して滑りやすいため、写真のようにハイカットになっています。基本的に走ることには不向きですが、アルペンやスノーボードのブーツに比べると非常に軽量です。最近ではカーボンファイバーを使用したハイテクブーツも登場しています。

ポール・ストラップ・バスケット



価格：7,000～50,000円

一般的に身長-15～20cmの長さのポールを使用します。初めて持ったときは非常に長く感じますが、ポールの力を利用して前に進むのに最適な長さなのです。

高価なものほど軽量かつ高剛性で、

その差は顕著です。しかし、横方向の力には非常に弱く、転んだ拍子でポールの上ののりと簡単に折れる場合があります。

ストラップとは手に通すひもの部分です。単純なひもではなく、手のひらにフィットする形状になっています。そのため力を入れてポールを握る必要はありません。また、握る部分はコルクでできていることが多く、これは適度な硬さだけでなく、冷たくならないためにも有効です。

バスケットとは、ポールの下部分で、雪面をキャッチする部分です。先端はとがった金属でできているため、アイスバーンなどの硬い雪面もしっかりとらえることができます。スキー0の場合、より大きなバスケットに付け替えてやわらかい雪に対応することもしばしばです。(それも作戦のうち)

マップホルダー



価格：～10,000円

両手にポールを持つため、地図やコンパスを持つことができません。そこでマップホルダーを利用します。

胸の前に地図がくるので、慣れれば滑りながらでも地図読みができます。一般的に地図は防水加工がされていませんが、マイナスの気温下ではぬれる心配がほとんどありません。

コンパスはマップホルダーに取り付けている人が多いですが、自分の手につける人もいます。自分にとって使いやすいように工夫するのがベストです。

現在販売されているマップホルダーは一万円と高価ですが、初めて体験する人は首からひもでぶら下げるタイプのものを自作することで対応できます。

帽子・サングラス・手袋



寒さを感じては競技に集中できませんから、気温にあわせた服装が必要です。スキーの場合最も寒いときで-20、逆に暖かいときでは+10ということもあります。

帽子は寒さ対策だけでなく、木などの障害物から頭を守る役割も果たします。スピードの出るスポーツですから万が一の場合に備えて帽子の着用は重要です。

サングラスは太陽の光から目を守るだけでなく、雪が降るときには目に雪が入るのを防いでくれます。サングラスの着用は個人の好みで付けたり付けなかったりです。

手袋は寒さから手を守るために重要です。あまり厚すぎるとポールを操作しにくくなるので、寒くない程度に薄いものを利用します。

レーシングスーツ

レースで着るウェアで、上下ともタイツのような伸縮性のある素材でできています。

体にフィットするため、風の抵抗を最小限に抑えることができ、動きやすいのが特徴です。レーシングスーツ自体は非常に薄いので、この中に長袖のTシャツを着たりタイツをはいたりして温度調節を行います。

持久系のスポーツですから、いくら気温がマイナスといえども汗をかきます。そのため、競技の服装は意外に薄着です。

最初のうちはレーシングスーツまでそろえる必要はありません。ジャージやウィンドブレーカーなど自分の持っているウェアで十分です。

また、気温がマイナス時のトレーニングでは、レーシングスーツでは寒いので、オーバージャージと呼ばれるスキーウェアを着ます。寒さにあった服装で快適に滑るのが一番重要です。



ワックス



レース中の外見には表れませんが、板へのワックスはスキーの滑走性を左右する重要な要素です。

ワックスの種類、方法を上げたら切がないのでここでは割愛しますが、ワックスの選択も作戦の一つであり、スキーをより一層奥深い競技にしています。

強豪国ではワックスマンと呼ばれるワックスのみを専門とする人がチームに一人以上います。

靴とビンディングの相性



上の靴に下のビンディング

いかがだったでしょう。フットに比べ、使う道具も多い分お金がかかるスポーツかもしれません。それを負担と考えるのではなく、選択する楽しみを味わえれば、スキーとも長く付き合っていくことができるでしょう。

最初から何もかもそろえる必要はありません。全部レンタルからスタートしてたっていいのです。まずはスキーのスキーにしかない快感を体感してください。注意：一度感じたらやめられなくなりますよ。



ショップ紹介「富士スポーツ」



所在地：山形県尾花沢市
TEL:0237-22-0153
<http://fijisports.co.jp>

スキー研究会では、スキー用品について、発足当初から山形県尾花沢市の「富士スポーツ」と特別安価で契約しています。希望により通信販売も行っていて、サイズが不適合の場合は送料販売店着払いで交換に応じています。

又、スキーイベントには積極的に協賛し、景品の提供、広告料の寄付等深い理解が得られています。

購入・問い合わせ等は、直接又はスキー研究会にどしどしお寄せください。

(堀江守弘)